

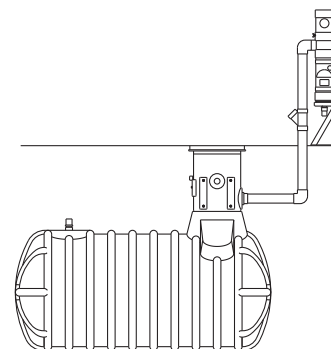
＜お客様用＞ 大切な「水」をあなたへ……川本ポンプ

# KAWA<sup>®</sup> 太郎

＜埋設形雨水利用装置＞

TARZ2

## 取扱説明書



このたびは、埋設形KAWA太郎をご選定いただきましてまことにありがとうございます。

ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

この取扱説明書は、お客様が正しく安全にご使用されるためのご案内書です。よくお読みになり、内容を理解された上でご使用されるようお願いいたします。

また、常にこの取扱説明書をお手元におかれてご使用されることをお勧めします。

＜KAWA太郎の据付は専門工事が必要ですから、お客様自身では行わないでください＞

### ＜目次＞

|                       |   |            |   |
|-----------------------|---|------------|---|
| 1 仕様                  | 2 | 5 試運転      | 7 |
| 2 製品の構成               | 2 | 6 故障の原因と対策 | 7 |
| 3 ご使用になる前にご確認いただきたいこと | 4 | 7 覚え書      | 8 |
| 4 保守・点検               | 4 |            |   |

### ▲ 特に注意していただきたいこと

- この装置の水は飲み水ではありません。蛇口に必ずえふ「この水はのめません」(標準付属品)を取り付けてください。飲むと身体の不調の原因になります。
- この装置の水は、洗浄便座、手洗いには使用できません。使用すると身体の不調の原因になります。
- 点検・交換の際は、必ずポンプの電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。  
ポンプの電源を投入した後は、濡れた手で電源や操作スイッチなどをさわらないでください。感電やけがをする原因になります。
- 修理作業の方以外は、排水コマの取り替え、フィルタの掃除以外の分解・修理は絶対に行わないでください。  
故障の原因になります。

本文中の関連箇所にも製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

▲警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

▲注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

# 1 仕様

## ▲ 警告

●決められた製品仕様以外では使用しないでください。感電・火災、漏水などの原因になります。

|        |     |                      |             |           |          |    |
|--------|-----|----------------------|-------------|-----------|----------|----|
| 取扱液    | 液質  | 雨水、上水                | KAWA太郎セット記号 | 受水槽       | 受水槽付属セット |    |
|        | 液温  | 0～40℃                |             | TARZ2-70  | 700L     | 75 |
|        | PH値 | 6～8                  |             | TARZ2-110 | 1100L    | 76 |
| 設置場所   |     | 地中                   |             |           |          |    |
| 標準集水面積 |     | 30～100m <sup>2</sup> |             |           |          |    |
| 標準縦樋口径 |     | 60mm                 |             |           |          |    |
| 適用ポンプ  |     | NR-130、150、200、250   |             |           |          |    |
|        |     | NF3-150、250、400      |             |           |          |    |

# 2 製品の構成

## 1. 構造図

| No | 名称       | 記号・寸法    | No | 名称       | 記号・寸法 |
|----|----------|----------|----|----------|-------|
| 1  | 受水槽      |          | 10 | セパレータ    |       |
| 2  | 仕切板      |          | 11 | 点検窓      |       |
| 3  | ボールタップ   | 1/2B-10K | 12 | 支え       |       |
| 4  | フロートスイッチ | リード線長さ3m | 13 | 45°Y     | 50    |
| 5  | ちょうナット   | M6       | 14 | バルブ用ソケット | 2     |
| 6  | バルブ用ソケット | 1        | 15 | バルブ用ソケット | 2.1/2 |
| 7  | ボックスコネクタ | 14       | 16 | チェック弁    |       |
| 8  | Uリング     | 287      | 17 | 銘板       |       |
| 9  | マンホール    | 300      |    |          |       |

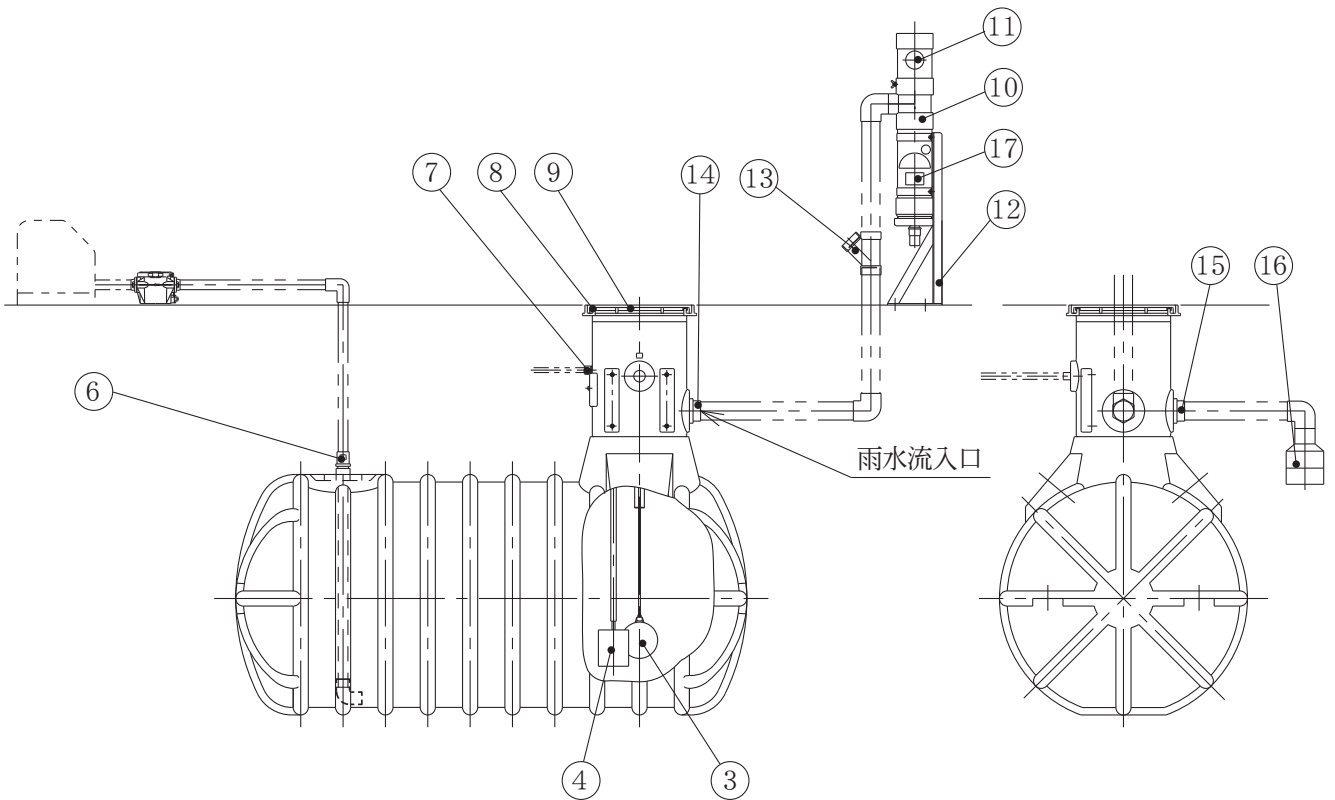
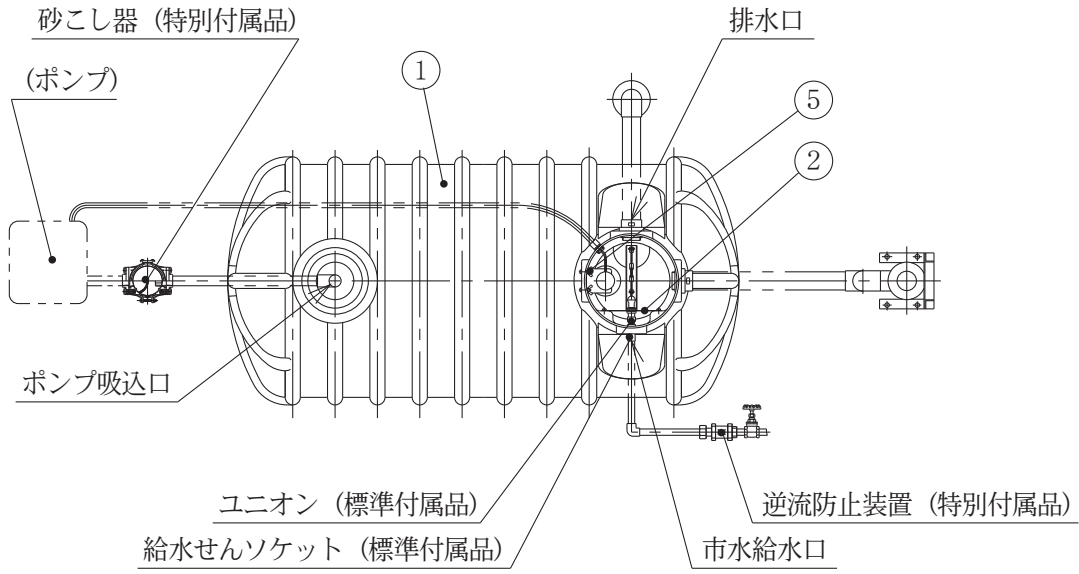
## 2. 標準付属品

| 部品名      | 個数 | 備考                      |
|----------|----|-------------------------|
| 弁座(排水コマ) | 1  | 排水口径3mm                 |
| 平先止めねじ   | 2  | M3×4(予備品)               |
| 棒スパナ     | 1  | 1.5六角レンチ                |
| フィルタC    | 2  | セパレータのフィルタの内側に取り付け(予備品) |
| えふ       | 3  | 蛇口に取り付け                 |
| ユニオン     | 1  | 13A(パッキン1枚付属)           |
| 給水せんソケット | 1  | 13A                     |
| 平座金      | 2  | 6                       |
| ばね座金     | 2  | 6                       |
| ちょうナット   | 2  | M6                      |
| 表示書      | 1  | 事業所一覧表                  |
| 取扱説明書    | 1  | 工事店様用                   |
| 取扱説明書    | 1  | お客様用                    |

## 3. 特別付属品

| 部品名    | 個数 | 備考              |
|--------|----|-----------------|
| 砂こし器   | 1  | 25A             |
| 逆流防止装置 | 1  | 13D(Rc3/8×G1/2) |

<図-1>



### 3 ご使用になる前にご確認いただきたいこと

#### ▲ 警 告

- この装置の水は飲み水ではありません。蛇口には必ずえふ「この水はのめません」（標準付属品）を取り付けてください。飲むと身体の不調の原因となります。
- この装置の水は洗浄便座・手洗いには使用できません。使用すると身体の不調の原因となります。

### 4 保守・点検

#### ▲ 警 告

- 点検・交換の際は、必ずポンプの電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。  
ポンプの電源を投入した後は、濡れた手で電源や操作スイッチなどをさわらないでください。感電やけがをする原因になります。
- 受水槽の掃除の途中で現場を離れる場合は、必ずマンホールのふたをしてから離れてください。幼児が落下する恐れがあります。

#### お願い

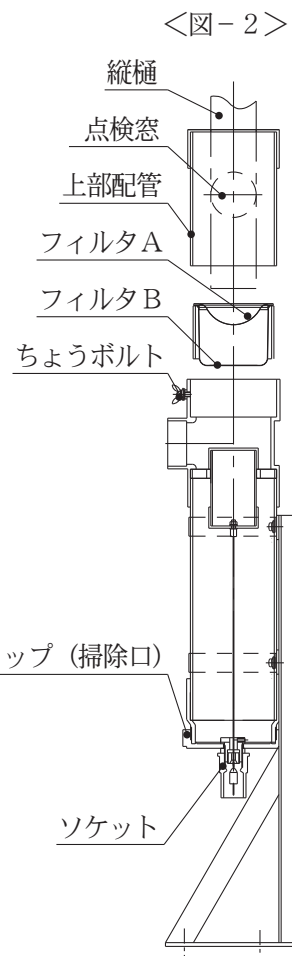
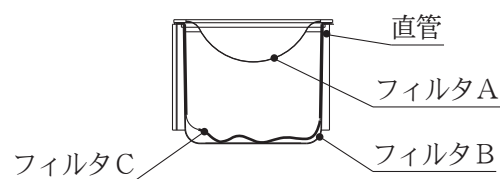
- 別冊のポンプの取扱説明書もよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

#### 4-1 ポンプの保守

ポンプに付属している取扱説明書をお読みください。

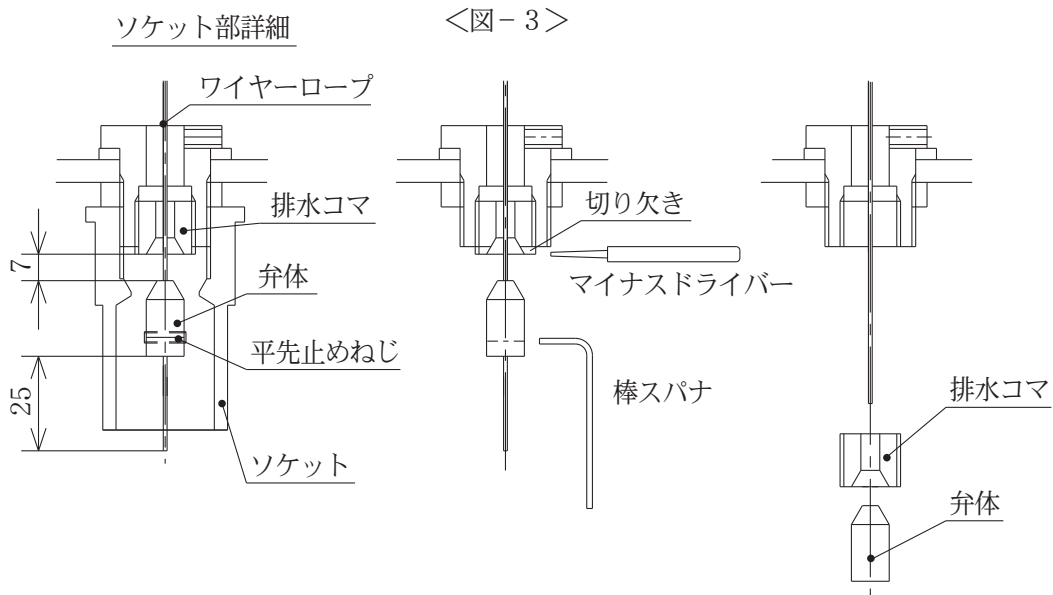
#### 4-2 セパレータ内のフィルタの掃除<図-2>

- (1) ご使用とともにセパレータのフィルタが木の葉等で詰まりフィルタの役目を果たさなくなります。  
点検窓から見てフィルタが詰まっている場合、次のようにしてフィルタを掃除してください。
- (2) 上部配管を固定しているちょうボルトをゆるめ、上部配管を上へスライドさせ、フィルタA、フィルタBを取り出し、掃除してください。
- (3) フィルタBでも土砂等のゴミが十分に除去できない場合は、フィルタC（標準付属品）を、フィルタBの内側に付けてください。
- (4) フィルタCでも植物繊維などの微細なゴミが流入する恐れがある場合は、ポンプの吐出し側に浄水器MRK-25を設置ください。



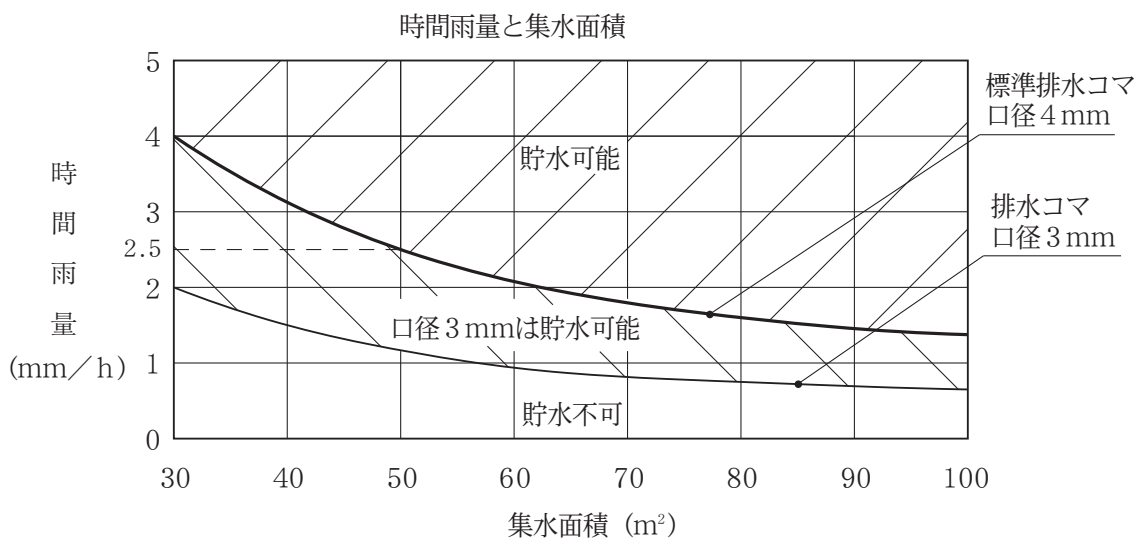
#### 4-3 セパレータ内の掃除、排水コマの取り替え<図-3>

- (1) 排水コマは、口径4mmのものが標準で取付けられています。時間雨量と集水面積の関係はグラフの通りで、時間雨量が斜線部の範囲であれば貯水が可能です。
- (2) 集水量を優先する場合は、口径3mmの排水コマに取替えてください。その際、砂等がたまっていたら取り除いてください。
- (3) 排水コマの交換は、初めにソケットを外してください。次にワイヤロープに弁体を固定している平先止めねじ(予備品付属)を棒スパナでゆるめ、弁体を外してください。次に排水コマの切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、排水コマを回転させて取り外してください。
- (4) セパレータ内の掃除は、上記の作業の後、キャップ(掃除口)を外して行ってください。
- (5) 掃除が終わりましたら、弁体を下記の寸法の位置になるように取り付けてください。
- (6) 降雨時にセパレータ下部から初期雨水除去のため若干の漏れ(約0.8 L/min)があります。



#### <グラフの見方>

排水コマ口径4mm、集水面積50m<sup>2</sup>では、2.5mm/h以上の雨量で貯水が可能で、2.5mm/h未満の雨量では貯水ができないことを示します。

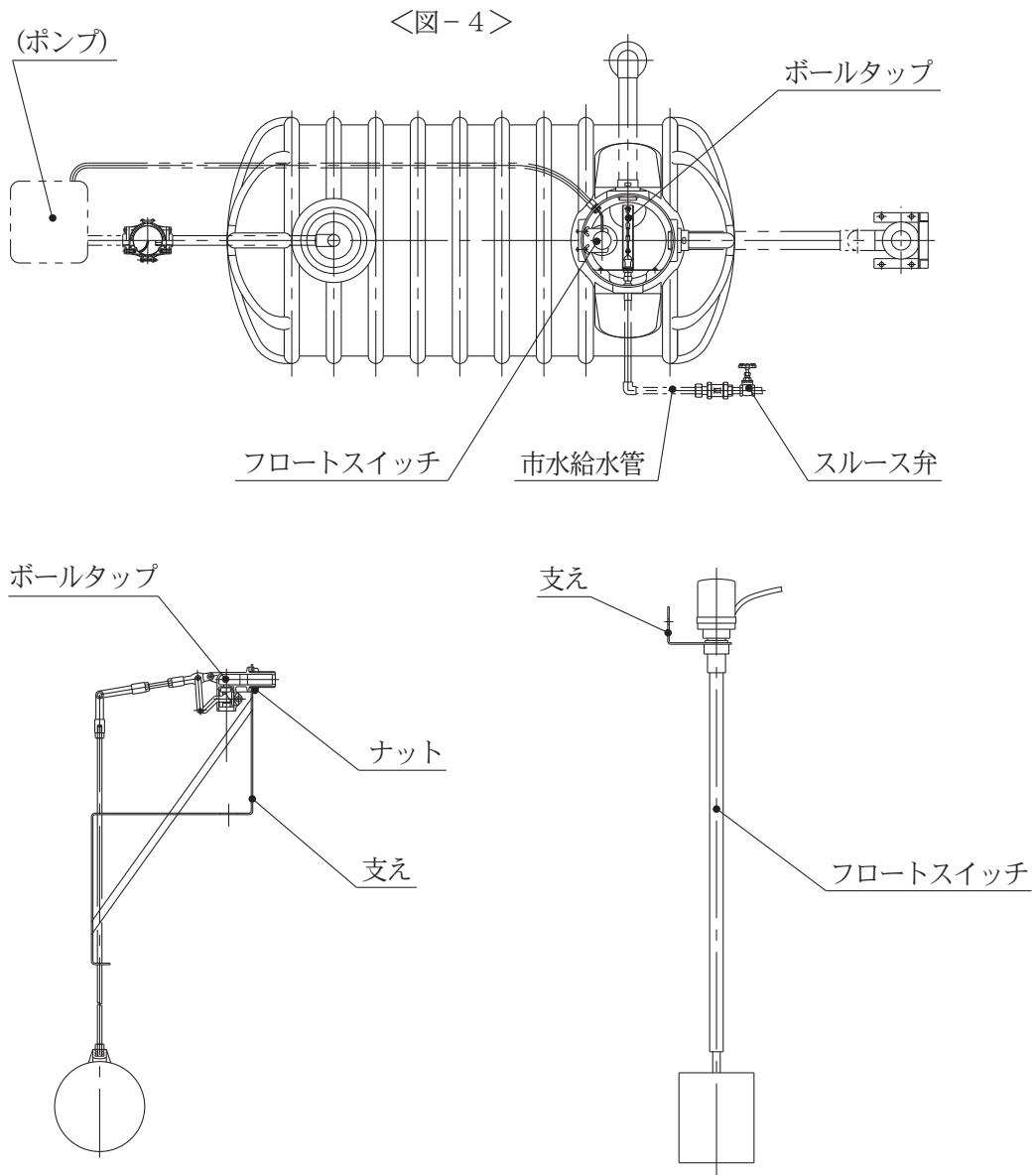


#### 4-4 受水槽の掃除<図-4>

装置を半年～1年程度ご使用になりますと、雨水に混じった細かい土砂等の異物が受水槽に沈殿します。

その場合は下記の要領で清掃してください。掃除は専門業者へご依頼することをお奨めします。

- (1) 掃除の途中で現場を離れる場合は、必ずマンホールのふたをしてから離れてください。幼児が直管内部に落下し、けがをする恐れがあります。
- (2) ポンプの電源を切ってください。(電源コードをコンセントから抜きます)
- (3) 市水給水管のスルース弁を閉じてください。
- (4) 受水槽のマンホールの蓋をとり、市水給水管からボールタップ(支え付き)を取り外してください。
- (5) フロートスイッチ(支え付き)を取り外してください。
- (6) 排水ポンプまたは真空ポンプで水槽に貯まった水を排水してください。  
(排水ポンプまたは真空ポンプは付属していませんので、別途準備してください)
- (7) 市水給水管にホースをつなぎ、スルース弁を開いて水を出し、槽内をすすいでください。
- (8) (6)、(7)を2回ほど行ってください。
- (9) ボールタップ、フロートスイッチを取り付け、マンホールの蓋をしてください。
- (10) ポンプの電源を入れてください。(電源コードをコンセントに差し込みます)



## 5

## 試運転

保守・点検が終わりましたら、次の順序で試運転をおこなってください。

- (1) 給水管側のスルース弁を開け、水道水を受水槽内に貯えてください。水が貯えられますと、ポールタップの働きにより自動的に止まります。
- (2) 吐出し管側のスルース弁及び配管した給水栓を全部開いてください。
- (3) ポンプカバーを外し、呼び水用プラグを取り外し、呼び水口より注水します。注水後、呼び水用プラグをしっかりねじ込んでください。
- (4) ポンプの圧力スイッチの設定圧力を確認してください。吸上揚程は1 m程度です。
- (5) 穴なしフランジのキャップを、小穴が下側になるようにゆるめてください。
- (6) 電源プラグを差し込んでください。
- (7) 電源を入れますとポンプが運転し、自吸を始め、吸込管中の空気を排出して自動的に自吸します。キャップの小穴から水が勢いよく噴き出てきたら自吸完了です。
- (8) 自吸が完了したら、キャップをしっかり締めてください。
- (9) 揚水を始めましたら、各給水栓を開閉し、ポンプの始動停止の状態や運転音が異常に高くないか、ポンプおよび配管の水漏れがないかどうか調査してください。  
揚水しないときは、呼び水が不足している場合がありますので、電源を切って再び呼び水をしてください。
- (10) 給水栓を全部閉じて、ポンプが停止することを確認してください。
- (11) 試運転が完了しましたらモータ、ポンプ、アキュムレータなどについて水滴を乾いた布で拭き取ってください。

## 6

## 故障の原因と対策

## ▲ 警 告

- 修理業者の方以外は、排水コマの取り替え、フィルタの掃除以外の分解・修理は絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- 異常がある場合は、事故防止のため、給水ポンプの電源を切って、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に点検・修理を依頼ください。放置すると感電や漏電による火災の恐れがあります。

下表の点検項目を実施いただいた後も異常がある場合は、ご購入先もしくは弊社サービス店にご連絡ください。

ポンプの〈故障の原因と対策〉については、ポンプの取扱説明書を参照してください。

| 内 容             | 故 障 の 原 因    | 修 理 方 法                       | 参照ページ |
|-----------------|--------------|-------------------------------|-------|
| モータが回らない        | 断水           | 回復を待つ                         | —     |
|                 | フロートスイッチの故障  | フロートスイッチを取り替える                | 6     |
| モータは回るが揚水しない    | 吸込管より空気を吸込む  | 一度呼び水をして運転する<br>吸込管の継目、破損を調べる | —     |
|                 | ポンプ内の水落ち     | チェック弁を修理する。取り替える              | —     |
| 水を使用しないのに運転する   | 給水栓からの水漏れ    | 給水栓を修理する                      | —     |
|                 | 吐出し管水漏れ      | 配管を点検修理する                     | —     |
|                 | チェック弁からの水漏れ  | チェック弁を修理する。取り替える              | —     |
| 保護スイッチが働く       | ポンプ内に異物の混入   | ポンプ、受水槽内の異物を取り除く              | 6     |
| オーバーフロー管から水が溢れる | ポールタップの故障    | ポールタップを修理する。取り替える             | 6     |
| セパレータ上部から雨水が溢れる | フィルタの詰まり     | フィルタを取り出し、掃除する                | 4     |
| 雨水が溜まらない        | 排水コマの径が大きすぎる | 排水コマを小口径のものに取り替える             | 5     |
| 初期雨水を除去できない     | 排水コマ部の詰まり    | 排水コマ部を掃除する                    | 5     |

